

令和 2 年度 墨田区立第二寺島小学校 経営報告書

令和 3 年 3 月 1 3 日

|         |   |
|---------|---|
| 学 校 目 標 | 豊かなつながりと挑戦の中で、知・徳・体の調和のとれた児童を育む学校<br>・よく考えて工夫する子 ・思いやりがあり助け合う子<br>・体力のある元気な子 ・ねばり強くやりぬく子  |
| 目指す学校像  | TEAM 二寺 ～元気と勇気と思いやり 明日に挑戦する学校～  |
| 目指す子供像  | <ul style="list-style-type: none"> <li>よく考えて、工夫する子<br/>「自ら考え表現できる児童」 基礎・基本や学び方を身に付けている子<br/>自ら問いや課題を見付け、工夫して遊び学び行動する子</li> <li>思いやりがあり、助け合う子<br/>自己肯定感・自己有用感をもつ子<br/>自他を大切にし、おもいやりある行動がとれる勇気のある子。</li> <li>体力のある、元気な子<br/>遊び・運動が好きな子 健康のため自己管理ができる子</li> <li>ねばり強く、やりぬく子<br/>仲間や地域のために自己の能力を発揮する子<br/>リーダーシップ・フォロアーシップをもつ子</li> </ul>   |
| 目指す教師像  | <p><b>教職員の基本姿勢 「学校は子供たちのためにある」「1人ひとりの良さを引き出す指導」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめを絶対に許さず、偏見や差別をなくす人権尊重教育の徹底に努める。</li> <li>○特別支援教育への理解に努め、一人一人の良さを引き出し、勇気づける指導を進める。</li> <li>○保護者と共に、児童の成長を喜び合う。<br/>明るさ温かさを根底にしなが、子供の思いを受け止め、良いことと悪いこととを明確に教え、根気よく励ます。(体罰・暴言はあってはならない。)</li> <li>○分かる・できる喜びのある授業・教育活動を追求し、日々研究・研修に努める。</li> <li>○保護者・地域と温かい関係を築き、共によりよい教育環境・居場所を創造する。</li> <li>○組織的に協働し、プラス思考で発信できる。</li> </ul> |

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

| 項目     | 評価項目                                    | 自己評価 |  | 学校関係者評価  |         |
|--------|---|------|--|----------|---------|
|        |   | 達成状況 | 改善策  | 自己評価について | 改善策について |
| 各教科等指導 | 学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。 | A    | 学力向上の組織的な対応が進んだ。区の学力状況調査では、ほぼ、全国平均を上回った。理科についての改善を進めている。今後は、タブレット端末を有効に活用し、児童の主体的・対話的深い学びにむけ、課題解決型の学習を推進していく。  | A        | A       |
|        | 学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。 | B    | 校内委員会が定期的開催され、巡回心理士・SC・区のスーパーバイザーなど連携が進み、対応が組織的計画的に進んだ。個別の支援が進み、学習成果が上がっている。今後も関係機関との連携を充実させ、実態の分析・アセスメント・改善策と、途切れなく支援を進めていく。また、ユニバーサルデザインに基づく教育環境づくりを進めていく。 | B        | A       |
|        | 学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。     | B    | キャリアパスポートを全学年で実施し、発達の段階に応じたキャリア教育を進めているが、計画の再構築を進め、内容をさらに充実させていく。中学校や地域・保護者との連携を進め、出前授業や体験の機会を設定していく。<br>教科横断的に、キャリア教育の視点での単元づくりを進める。                        | B        | A       |

様式 4

|  |   |          |  |          |          |
|--|---|----------|--|----------|----------|
|  | <p>学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。</p>   | <p>A</p> | <p>授業改善を中心とした、校内研究を進め、課題解決府型の授業への転換を進めている。自己申告のための授業観察を年間3回以上実施し、面談時に課題と成果を確認している。</p> <p>校内研究も制限のある中実施できた。今後も、研究を推進し、校内での研修や、指導教諭の授業参観、各職層の研修を意図的に受けさせ、相互に学びあう集団となるように計画していく。</p> | <p>A</p> | <p>A</p> |
|  | <p><b>学校関係者評価委員会の意見等</b></p> <p>○コロナ禍で学習習慣の定着や学習意欲の持続が困難と推察される中、学習能力の向上が垣間見られる点はすばらしいことで、日頃の教職員の創意工夫や感じられる。また、そうした中でも「安全・安心」の基本を怠ることなく、年間を通じて大きな事故等が結果的に発生しなかったことは、決して偶然ではなく、日々の高い意識と啓発の成果であると思う。本格的に学習または学校生活の中にタブレットが入る中、また一段上の視点が必要になってくると思い、スキル向上のみに滞らず、ITリテラシーも高く高めていただき、真の社会人としての基盤が築かれる教育活動を心から期待する。</p> <p>○今年度はコロナのため、二寺の様子を見られなくて残念であった。次年度は行事等参観できるようにとうれしい。</p> |          |  |          |          |

| 項目    | 評価項目  | 自己評価   |  | 学校関係者評価  |         |
|-------|---|--|--|----------|---------|
|       |   | 達成状況   | 改善策  | 自己評価について | 改善策について |
| 生活指導等 | 学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。                 | A  | <p>情報共有のために ICT を活用し、いじめ・不登校・問題行動への対応を組織的に行うようにしてきた。</p> <p>特に、外部関係機関との連携が進み、不登校については改善が見えている。</p> <p>生活指導の基本ラインを全教職員が確認し、児童の規範意識の醸成や主体的な行動を引き出すようにしていく。</p>   | A        | A       |
|       | 学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。 | A  | <p>「時間」「礼儀」「責任」を基本に、児童の主体的な行動を認め繰り返し、指導を重ねてきた。基本的な生活習慣と「新しい生活様式」の定着を家庭と連携して実施し、おおむね定着している。</p> <p>また、制限のある中、学習活動や行事を工夫し、児童の達成感や自己肯定感・相互理解を高める活動を継続した。</p> <p>今後も、「新しい生活様式」の中で、豊かな関りの場や、体験的な活動など、工夫した活動を計画していく。</p>                         | A        | A       |
|       | 学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。                     | A  | <p>登校班指導を保護者と連携して行い、分散登校時から安全に登校することができている。年間の安全指導を計画的に進めている。</p> <p>今後は SNS 学校ルールの見直しを進め、タブレット端末の使用時のルール作りなど確立していく。「自分の身は自分で守る。」様々な状況を想定した安全教育を計画的に進めていく。</p>   | A        | A       |
|       | 学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。      | B  | <p>WEB でのアンケートを進めてきた。行事でのアンケートなど、成果や課題が明確になった。様々な場面での活用が展開されている。学校の保護者アンケートについては、現段階では紙でのアンケートも併用し広く意見を集めていくようにする。</p> <p>また、個人面談・授業参観・保護者会などの機会を設け、学校教育への保護者の理解をさらに得られるようにする。児童の意見要望も、アンケートなど活用している。今後も、児童の主体性を引き出し、要望が生かされる活動を進めていく。</p> | B        | A       |
|       | <b>学校関係者評価委員会の意見等</b>                           | <p>○委員にとって校内での子供たちの活動状況を知ることができるのは、主に授業参観であるが、評価項目の一部を見るだけでも、学校の状況を知ることができてよい。</p> <p>○今年度はコロナのため、学校公開がなく、授業を見ることができなかったが、登下校時の子どもの顔を見ると皆楽しそうで、学校生活が楽しいのだと感じる。</p> <p>○子供中心の教育を大切にくださり、感謝している。コロナ禍の中、子供同士のスキンシップがとりづらいことや、マスクをしていることの弊害等大変気になる。</p> <p>○学校と保護者間のコミュニケーションの取り方については、今後もよりよい形を構築してほしい。</p> |  |          |         |

様式 4

| 項目      | 評価項目                                   | 自己評価  |  | 学校関係者評価  |         |
|---------|--|---|--|----------|---------|
|         |  | 達成状況  | 改善策  | 自己評価について | 改善策について |
| 学校の管理運営 | 学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。 | A   | 学校のランドデザインを共有し、チームとしての動きをさらに活性化させるために、分掌組織を再構成し、役割や年間の計画と進行管理を進める。   | A        | A       |
|         | 学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。 | B   | 発達の段階に応じた目標を設定し、様々な調査を分析し、本校の事態から具体的な学力向上・体力向上への目標を設定する。3期に分けて、実施状況を共有していく。<br>成果指標を明確にし、学級個別ではなく、学年全体の成果として振り返りを行い、取組の焦点化と徹底を進める。 | B        | A       |
|         | 学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。       | A   | 各種環境の整備が進む中、「新しい生活様式」を組み込んだ環境づくりをさらに進めていく。タブレット端末の配布など教育活動が変革期にあり、従来の教育活動とのバランスを取りながら、本校の自然環境を生かした、体験的な活動が展開できるよう、さらに環境を整える。       | A        | A       |
|         | 学校関係者評価委員会の意見等                         | <p>○学校目標と教職員の基本姿勢が合致しており、二寺小の永年にわたる学校目標を子供たちにしっかりと指導できるものと思う。</p> <p>○来年度は、ICT 授業をどのように取り入れていくか楽しみにしている。</p> <p>○コロナ禍の中、本当に大変だったと思う。その中でもアイデアを出し合い、子供たちのためにされているのは素晴らしいと思う。これを機に、今まで当たり前のことであった授業や授業を、新しいやり方の授業や行事になることもよいことだと思う。</p> <p>○体育館の改築等、施設の充実を期待している。</p> |  |          |         |

| 項目      | 評価項目                                | 自己評価  |  | 学校関係者評価  |         |
|---------|-------------------------------------|---|--|----------|---------|
|         |                                     | 達成状況  | 改善策  | 自己評価について | 改善策について |
| 家庭・地域連携 | 学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。 | B   | 学校方針や校長の挨拶など HP で公開した。HP の学年のページに、活動を紹介してきた。授業公開が制限されていたので、保護者会での動画配信など行った。今後は、タブレット端末を活用したり、HP の更新頻度をあげたり、教育活動をさらに発信していく。 | A        | A       |
|         | 学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。     | A   | コロナ禍の中、感染予防への対策を知らせ、協力を求めた。安心安全面を優先しての教育活動に理解をいただき、無事に教育活動が進められた。<br>今後も、登校班活動や各種行事への協力・授業参加・放課後の居場所作りなどを連携して進めていく。        | A        | A       |
|         | 学校関係者評価委員会の意見等                      | <p>○特に学校と家庭との連携が大切である。</p> <p>○保護者や地域との連携をとる中で、ご家庭でも経済的な問題や精神的なストレスなどが子供たちに影響がないか、とても心配である。ご近所同士のお付き合いも、今少し薄れて、いじめや虐待など、見落としがないよう見守っていききたいと思う。</p> <p>○学校・保護者・地域との連携については、防災・防犯などの観点からもまだまだ課題があると思う。方向性や期待する姿などを、今一度整える機会があるとよいと思う。</p> <p>○今年度は活動が大きく制限されたが、来年度以降の活動に期待している。</p> |  |          |         |

2 令和 2 年度学校評価のまとめ

学校関係者評価において、概ね高評価をいただいた。今後も、さらに模範となる学校を目指し、「学校は子供たちのためにある」を信条とし、社会に開かれた教育課程を目指し、教職員の指導力・チーム力を向上させていく。次年度以降もコロナ禍の影響が続くものと思われるが、新しい生活様式の基で、創意工夫を継続しながら、児童の成長の様子を地域・保護者に発信していく。

以上の通り報告いたします。

墨田区立 第二寺島小学校 校長 中村 奈緒美 公印